

放射能関係のお知らせ

2018年2月1回(B週)

お届け日:2018/2/5~2018/2/9
発行日:2018/1/22



本誌は、カタログ掲載の青果について、2018/1/17(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	いちご	品目で検査済 たまつくり・とちのみ・うつのみや・はが野・海上・佐原・遠州
	伊予柑	品目で検査済 南伊豆
	不知火	検査予定 久望
	はるみ	検査予定 小田原
	ネーブル	検査予定 小田原
	はっさく	検査予定 小田原
	みかん	品目で検査済 小田原・久望
果菜	りんご	品目で検査済 八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
	きゅうり	品目で検査済 八千代・村悟空・佐原
	スナップエンドウ	品目で検査済 南伊豆
	トマト	品目で検査済 谷田部・葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ
葉菜	大葉	品目で検査済 和郷
	キャベツ	品目で検査済 あいづ・野菜くらぶ・村悟空・海上・佐原・和郷・三浦EM・南伊豆・遠州
	小松菜	品目で検査済 有機農法ギルド・群馬モグラ
	サニーレタス	品目で検査済 谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・八街・海上・和郷・風土の会
葉菜	春菊	品目で検査済 あゆみの会・元気会
	たらの芽	品目で検査済 丸公
	チンゲン菜	品目で検査済 こまち・あゆみの会
	菜の花	品目で検査済 小田原
	にら	品目で検査済 葉菜野果・元気会・野菜くらぶ
	ねぎ	品目で検査済 沃土・八街・和郷
	白菜	品目で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八千代・やさと・野菜くらぶ・利根川・南埼玉・村悟空・佐原・風土の会
	ブロッコリー	品目で検査済 谷田部・八千代・常総産直・八街
		品目で検査済 谷田部・八千代・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・村悟空・海上・佐原・和郷
		品目で検査済 谷田部・八千代・常総産直・八街

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	プチヴェール	検査予定 庄内たがわ
	ベビーリーフ	品目で検査済 フェニクス・レインボー
	ほうれん草	品目で検査済 新しいわて・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八千代・常総産直・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
	みず菜	品目で検査済 葉菜野果
	芽キャベツ	品目で検査済 谷田部・佐原
	ルッコラ	品目で検査済 南伊豆
	レタス	品目で検査済 葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
		品目で検査済 野菜くらぶ・佐原
		品目で検査済 常総産直・八千代・沃土・海上・サンド旭・南伊豆
		品目で検査済 沃土
根菜	かぶ	品目で検査済 谷田部・たまつくり・八千代・海上・佐原・和郷
	ごぼう	品目で検査済 谷田部・やさと
	里芋	品目で検査済 常総・有機農法ギルド・たまつくり・葉菜野果・佐原・和郷・清瀬・風土の会
	さつまいも	品目で検査済 八千代・あゆみの会・八街・佐原
	しょうが	品目で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会
	玉ねぎ	品目で検査済 常総・谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・たまつくり・佐原・和郷
	大根	品目で検査済 たまつくり・海上・三浦EM
	長芋	品目で検査済 谷田部・沃土・村悟空・佐原・風土の会・和郷
	人参	品目で検査済 常総・たまつくり・常総産直・あゆみの会・村悟空・佐原・和郷・清瀬
	にんにく	品目で検査済 谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・やさと・沃土・農法の会・海上・八街・風土の会
ほしいも	品目で検査済 八峰園・田子	
れんこん	品目で検査済 常陸	
	品目で検査済 常総・有たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップエンドウなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済 きのこ総研
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済 谷田部
なめこ	品目で検査済 谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済 谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済 ささかみ
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済 *生しいたけからは放射能が検出されました

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2018/1/17	7.3
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり	日本の稲作を守る会	2017/10/18	3.1 4.8
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

*白米で検査を行ったところ、放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ きなり 364	お手軽味噌鍋セットのしいたけ	2017/11/6	3.8
304			
コトコ きなり 366	野菜たっぷりのつけごはんセットのしいたけ	2018/1/17	7.3
—			
コトコ きなり 111287	産直鶏肉と野菜の治部煮風セットのしいたけ	2018/1/17	7.3
313			
コトコ きなり 358	焼き豚セットのしいたけ	2018/1/17	7.3
112151			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185523	ブルーベリー&ルティン	2017/12/5	8.2
240粒:185531			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
yumyum 122599	冷凍さつまいもスティック	2017/11/20	1.3
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

2018年 8年目にむけて 3

汚染水を中心に原発の状況について、東京電力の取り組みをお伝えします。

原発の今は...

- 汚染水対策は

現在でも、山側から海に流れ出ている地下水のうち、1日あたり約300トンが原子炉建屋に流れ込み、放射能を取り除き一時貯水タンクにためている現状です。

汚染水の対策としては次の3点があげられています。

- ①汚染水から放射能を取り除く、
- ②地下水が原子炉建屋の中に入らないように地下水を減らす、防ぐ、
- ③汚染水を漏らさない

原子炉建屋の中に入った汚染水の放射能は多核種除去設備(ALPS)などを含む複数の浄化設備で処理しています。

http://www.tepco.co.jp/tepconews/library/archive-j.html?video_uid=u8288kui&catid=61709 (汚染水処理の動画)

62種類の核種を取り除きますが、H₃(トリチウム)は酸素と結合した水(トリチウム水)となってしまうため、とることができません。

東京電力では自然にもトリチウムは含まれており、問題ないとしています。処理した汚染水の海洋放出については、現在も周辺の漁業関連団体との交渉が行われています。一般的に、原発からトリチウムは海洋放出されており、東電は、原子力規制委員会からも、放出することの検討を要請されています。

陸側・海側凍土壁の動画(2016/12/12)

http://www.tepco.co.jp/tepconews/library/archive-j.html?video_uid=h937aepv&catid=61709

一部の陸側凍土壁が完全凍結されていませんが、ほとんどの凍土壁が凍結され、地下水の流入は減少しているようです。

- 原発の今はどうなっているのか

2017/12/28(木)にアップされた最新の動画があります。

「福島第一原子力発電所は、今」～あの日から、明日へ～

http://www.tepco.co.jp/tepconews/library/archive-j.html?video_uid=d73bnivy&catid=61709

チェルノブイリでは、先ごろ古くなった石棺の上に新しい石棺を結合させました。東京電力でも一度は石棺実施の方針を提示しましたが、燃料デブリを取り出さず閉じ込めることへの懸念があり、現在は、燃料デブリ回収の方向ですめています。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1065)」(2017/10/2～2017/12/22で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未滿で検出された検体上位数件です。

シイタケ(原木・菌床):岩手県大槌町ほか	2.7～65Bq/kg
ナメコ:埼玉県秩父市ほか	17・25Bq/kg
イワナ:岩手県一関市ほか	16～45Bq/kg
ナマズ:茨城県霞ケ浦(西浦)	44Bq/kg
スズキ(海の魚):千葉県旭市ほか	0.52～29Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未滿で検出された検体上位数件です。

ヤマメ:福島県桑折町ほか	11～76Bq/kg
--------------	------------

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところがありますが、状況はきちんと把握できていません。

放射能を多く含んだ食品を、知らず知らずに口にしている可能性があります。検査をしておらず、流通している商品が今では多くなっていますので、検査をしているものを選ぶことをお勧めします。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

1月の放射能検査状況

1月の検査は、12日まで検査を実施し、すべて不検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	1月		1月
青果	2(0)	卵	0(0)
しいたけ	0(0)	魚介類	5(0)
その他のきのこ類	1(0)	飲料水・飲料	1(0)
米・米飯類	0(0)	乳幼児用食品	6(0)
牛乳・乳製品	4(0)	その他加工食品	41(0)
肉類	0(0)	合計	60(0)

2017年度の放射能検査の状況(2017年4月～2017年12月)

青果	今年度は青果・果物からの検出はありません。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1～15Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	日本の稲作を守る会の玄米(こしひかり)より2件(3.1、4.8Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されましたが、白米で検査したところ不検出でした。 2017年産米は、27産地69検体の検査が終了し、2件検出、その他67件不検出でした。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。 *放射能はぬか部分に多く蓄積するため、玄米で検査をおこなっています。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより自主基準内で1件(1.3Bq/kg)検出されました。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っていません。2017年よりyumyumでの掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1～11Bq/kg)、またいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	<大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。
	<乾物> 2017年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.0Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。
	<その他> 2017年12月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		
	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)			国の規格基準
2014年10月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。